

立ち寄りたくなる“中継港”へ 2025万博に向け 枚方宿起点に観光をデザイン

市は、令和7年の大阪・関西万博に向け、民間事業者との連携により戦略的に展開していくための観光まちづくりのコンセプトを打ち出した。大阪湾から上流までの淀川舟運の周航を可能にする淀川大堰閘門の整備が着手されるなど、沿川地域活性化の機運が高まる中、「思わず立ち寄りたくなる淀川の中継港」をコンセプトに、枚方観光を「くらわんかツーリズム」と銘打ち、枚方宿地区を起点とした観光客が滞在・周遊できる魅力ある観光まちづくりを促進する。

★枚方観光＝くらわんかツーリズムの確立へ

かつて淀川舟運の中継港として、行き交う三十石船に煮売り船で飲食物を売りつけた言葉「くらわんか」をキーワードに、市内外から多くのヒト、コト、モノが行き交う「淀川の中継港」として、枚方宿を起点とした観光客が滞在・周遊できる魅力ある観光まちづくりを促進する。枚方宿、枚方市駅、淀川河川エリア、枚方公園駅を面で捉えた地域活性化を核としながら、市内に点在する地域資源もまちを楽しんでもらえる枚方観光＝「くらわんかツーリズム」の確立に向け、魅力的なコンテンツを打ち出していく。

＜問い合わせ＞ 観光交流課 ☎：072-841-1357 FAX：072-841-1278

思わず立ち寄りたくなる 淀川の中継港へ

